

2012年度 同志社大学大学院 司法研究科
入学試験問題 〔小論文〕

第1問 (配点：100点)

以下にコンプライアンス（法令遵守）に関する論説を掲げる。

問（1）論説文中の〔A〕と〔B〕に入る適切な言葉は何か、文脈から推測して、それぞれ5字以内で答えなさい。

問（2）この論説を読んで、コンプライアンス徹底の風潮が経済・社会に与える利点と弊害に関し、以下の点に配慮しつつ、1000字程度で自由に自論を展開しなさい。

- この論説は、自論を展開するための材料を提供するものにすぎない。
- 本問は個々の法令の細かな知識や解釈論を問うものではない。
- 弊害の内容を説明し、その原因・対策を論じること。
- 抽象論に終始しないよう、適度に例を用いること。例は、この論説に使われているものから取ってもよいし、自分で考えてもよい。

【論説の掲載は、省略。】

出典：池田信夫『前原辞任で極まった日本社会の病「過剰コンプライアンス」』
(J B p r e s s ・ 2 0 1 1年3月9日)。

第2問 (配点：100点)

次の文章は、落合信彦『ケネディからの伝言』（集英社文庫・1997年〔第3刷〕）から抜粋したものです（原文は縦書き。漢字の読み仮名は省略）。この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

【文章の掲載は、省略。】

出典：落合信彦『ケネディからの伝言』（集英社文庫・1997年〔第3刷〕）。

問（1）文章中の〔 〕に70字程度の文字（句読点を含む）を挿入し、文章を完成させなさい。

問（2）「アメリカでは価格や賃金を自由に決めることができない」として、ケネディのやり方に批判する見解があるとする。あなたなら、この批判をどのように評価するか、200字程度で述べなさい。

問（3）「真のリーダーシップ」というテーマで800字程度の文章を作成しなさい。ただし、文章の作成にあたっては、以下の3つの語句を必ず用いなさい。また、文章中その用いた単語の下に下線を付しなさい。

[社会に対する責任、責任を放棄した自由、国家の未来]